

なぎさ



地域とともにある学校

校長 平田 賢司



「ギョギョギョ ギョシギョシ」

広瀬調整池のヨシ原では、今年もまた、オオヨシキリの独特なさえずりが聞こえ始めました。ヨシの葉を上手に編み込んで、お椀状の巣を作りますが、しばしばカッコウに「托卵」されます。托卵とは自分の卵と誕生した雛への世話を他の野鳥に託す習性のことです。卵を見ると抱かざるを得ない、黄色い縁の赤い口が開くと餌を与えざるを得ない本能によりこの関係が成り立っています。しかし、カッコウの雛が大きくなると、さすがに自分の子ではないと気づき巣を放置したり、卵を産み落とされたときにおかしいと気づき巣の外に落としたりするといいます。一方で、カッコウもオオヨシキリの卵に模様を似せて見破られないようにするなど、ヨシ原では種の存続をかけて熾烈なバトルが繰り広げられています。さて、爽やかな青空に恵まれた5月18日は、保護者や地域の皆さま、ご来賓の皆さま、海上自衛隊音響測定所の皆さまなど、およそ100名をお招きして、校区合同運動会を盛大に開催することができました。全校児童4名、エール交換は？応援合戦は？紅白リレーは？極小規模校での運動会は課題が山積みでした。それでも、「子どもたちに寂しい思いをさせたくない」という一心で準備を進めました。開閉式の進行や一輪車演技の補助など、さまざまな場面に卒業生の姿がありました。運動会の歌では手拍子で盛り上げたり、校歌を一緒に口ずさんだりする地域の皆さまの姿がありました。そして、花形種目の紅白リレーは、卒業生や3月末で転出した児童に音響測定所の10名も加わり、息詰まる大接戦になりました。懸命に頑張る子どもたちに送られる惜しめない拍手と声援を聞きながら、「地域あつての学校」「学校あつての地域」を再認識する貴重な1日になりました。

福山Four Leaves



ちょっと独り言

空港や商業施設の男性トイレの小便器には「的(まと)」が描かれています。その理由は、人的があるところを狙いたくなる心理を利用し、便器外に尿が飛ばないように誘導しています。小便器の前には「トイレをきれいに使いましょう」とか「一歩前に」などの張り紙も見かけます。これは注意喚起や具体的な行動する指示する、より直接的なメッセージ。一方で、的の絵はあくまでも利用者が自主的に、そして自然な行動を促す効果があります。これは「ナッジ理論」とよばれます。ナッジとは「肘などで軽く相手をつついて注意を促す」という意味で、「望ましい自発的な行動を促す手法」のこと。活用例をもうひとつ紹介します。たばこのポイ捨てが問題になっていたロンドンでは、「世界一のサッカー選手は？」という質問を掲げ、その前にメッシ選手とロナウド選手の名前をつけた吸い殻入れを設置し、いずれかに投票できるようにしました。この「たばこの吸い殻で投票」というシステムで、ポイ捨ての大幅な削減に成功したといいます。「簡単で」「魅力的で」「ユニークな」しかけにより、人々の行動心理をくすぐり問題を解決に導く興味深い取組。案外、身近なところにさまざまな「ナッジ」が仕込まれているかもしれません。

盛り上がった「第7回福山小校区合同運動会」

たくさんの方が、運動会を盛り上げてくださいました。
4人の子どもたちも、練習の成果を思う存分発揮できた運動会となりました。ありがとうございました。



主な行事予定

- 1日(月) 学校評議員会
- 2日(火) 命の教育の日
- 4日(木) しろやま号来校
- 11日(木) 県民の日
スクールカウンセラー来校
- 13日(土) 土曜授業
- 17日(水) 豊かな海づくり放流祭参加
水難事故防止運動強調期間(~8/31)
- 19日(金) 終業式
- 24日(水) 小学校水泳記録会



むし歯ゼロ継続へ！

6月6日(木)は、学校歯科医の有村先生と歯科衛生士の方を招いて、親子歯みがき教室を開きました。日頃から、歯の健康についての意識が高い本校の児童と保護者。「フロスを使っていますか。」の質問にも、全員手が挙がるほどです。歯についてやむし歯のでき方の講話や正しいブラッシングの実技指導を通して、むし歯ゼロ継続への意識をより一層高めていました。



様々な本に触れる機会を！

6月は、読書月間です。毎週月曜日には、教職員による読み聞かせをしています。3日は、事務職員による落語絵本の読み聞かせを行いました。また、2年生の教室では、ALTのメーガン先生と一緒に英語版と日本語版の「スイミー」を読み合いました。



歴史と文化の地 黒酢の里
自然豊かな「福山小学校」で
学びませんか？

少人数の
特色を生かした
「特認校制度」

【問合せ】

TEL & FAX 55-2030



【↑ブログ】